

情報公開文書

課題名 : 鼻出血で当院入院加療した症例の検討

研究期間: 倫理委員会承認日～2025年12月31日

1. 研究の対象

2010年1月1日以降 2025年9月30日までに鼻出血で当院へ入院し加療された方

2. 研究目的・方法

目的: 鼻出血の多くはキーゼルバッハ部位と呼ばれる鼻腔前方の血管が多く集まる部位からであり、そのほとんどは外来で行う電気焼灼にて容易に止血できます。しかし、出血点不明、後方からの出血、高血圧の既往、抗血小板薬・抗凝固薬の服用など種々の原因により、外来では止血が困難で入院加療する患者さんも少なからずおられます。今回、過去に鼻出血で当院へ入院し治療した患者さんの診療録を用い、難治性鼻出血に有効な止血法を検討したいと考えております。

方法: 上記対象期間に入院された患者さんの診療録から、性別、年齢、出血部位、再出血の有無、止血法、入院期間、基礎疾患、内服薬等について分析します。入院中再出血の有り、無しの2群において上記患者背景を分析します。再出血例において、最終的止血法(電気凝固、ガーゼ圧迫止血、全身麻酔下鼻粘膜焼灼術、血管内塞栓術)を分析します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

入院診療録から、性別、年齢、出血部位、再出血の有無、止血法、入院期間、基礎疾患、内服薬等を用います。

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター耳鼻いんこう科 加藤照幸(研究責任者)

住所: 静岡県浜松市中区富塚町 328 電話: 053-453-7111